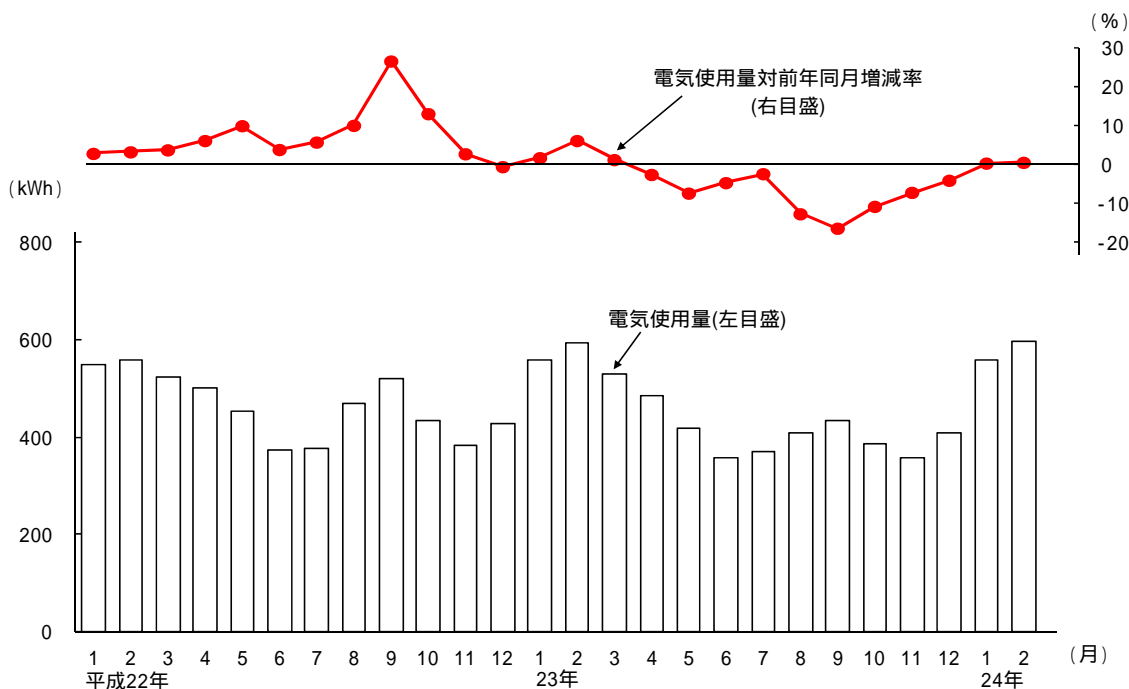


平成 24 年 3 月 30 日
総務省統計局

電気使用量の推移

平成 23 年の東日本大震災以降、家庭での節電を背景に 1 世帯当たりの電気使用量は前年同月に比べ減少が続いていた。しかし、寒波の影響から暖房需要が高まっており、電気代は前年同月に比べ実質減少したものの、平成 24 年 2 月の 1 世帯当たりの電気使用量は、前年同月に比べ 0.5% の増加となっている。

図表 電気使用量の推移



1世帯当たり電気使用量(kWh)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成22年	547.765	559.772	523.211	499.425	452.597	374.326	378.167	467.740	519.506	432.924	384.240	426.658
平成23年	557.063	593.888	529.426	486.233	418.946	356.683	369.133	408.426	434.528	386.198	356.710	409.280
平成24年	558.633	596.906										

対前年同月増減率(%)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成22年	2.8	3.2	3.7	6.1	9.9	3.8	5.7	10.0	26.5	13.0	2.7	-0.6
平成23年	1.7	6.1	1.2	-2.6	-7.4	-4.7	-2.4	-12.7	-16.4	-10.8	-7.2	-4.1
平成24年	0.3	0.5										

注) 家計調査では、電気代等の支払金額及び使用量については、請求やメーターの検針があった日ではなく、調査世帯が実際に支払った日(口座振替の場合は口座振替日)に家計簿に記入される。したがって、利用(購入)月と支払月に違いがあるため、月次の変化をみる際は注意が必要である。

統計調査員による不正事務の発生(詳細は、平成 24 年 4 月 25 日報道発表資料(URL: <http://www.stat.go.jp/data/kakei/pdf/120425.pdf>))に伴う再集計結果である。(平成 24 年 5 月 29 日掲載)